

5年 国語 きいて、きいて、きいてみよう

5年生では、国語の「きいて、きいて、きいてみよう」の学習では、「きき手」「話し手」「記録者」の役割に分かれてインタビューや報告会を行いました。それぞれの役割のめあてに沿って、子供たちは意欲的に学習に取り組んでいました。

「きき手」・・・ききたいことをはっきりさせ、話の流れにそって質問する。

「話し手」・・・相手が何を知りたいのかを考えながら話す。

「記録者」・・・やり取りを正確に聞いて、要点をメモに取る。



友達にきいてみたい話題を考え、インタビューを行います。インタビューしたことを「報告会」で伝え合っています。

